

## ～今から始める2024年度対策・その6～

2024年度から医師の時間外労働の上限規制が始まる予定です

上限を超える医師がいる場合はもちろん、時間外労働をしている医師がいる医療機関は今から計画的に対策を講じていくことが必要です。このため、医師の労働時間短縮に向けた対策をシリーズでお伝えしています

第19号から23号まで、2024年度に向けたロードマップと取り組むべき課題を解説してきました。今回は、課題に取り組む手法の一つとして「マネジメントシステム」と「モデル支援事業」のご紹介です。

新型コロナウイルス感染症は小康状態にあります。すでにホームページなどでお知らせしてありますように、現在、高知県医療勤務環境改善支援センターは、電話相談などで各医療機関の改善活動を支援しています。同時にモデル支援事業の対象施設を募集するかどうか、事業が実施できるかどうかを思料しているところです。

### ● マネジメントシステムとモデル支援事業 ●

これまでご紹介してきましたように医療勤務環境の改善のためには「医療勤務環境改善マネジメントシステム (<https://iryo-kinmukankyuu.mhlw.go.jp/outline/download/>)」を活用することが推奨されています。そして、この7段階のマネジメントシステムはPDCAサイクルを下敷きにしています。「PDCAって大変だって聞きますが・・・」、そんな声も聞こえてきそうです。確かに、もともとこのサイクルを日本に紹介したデミングが使っていなかったPDCAサイクルのCheckの過程がネガティブに捉えられることがあります。

図2. 7段階のマネジメントシステム



そこで当センターがお手伝いするモデル支援事業では、専門アドバイザーがお力添えしています。具体的には、現場と離れたところで到達不能な目標が作成されないように、そして多職種に共通の目標ができるように配慮した支援を行います。図1と図2を見比べてください。マネジメントシステムではPlanの完成までが5つのStepに分かれています。マネジメントシステムはPDCAそのものではなく、この段階を大切にします。現状の分析に基づいた、また評価可能な目標であるためには、どんな指標を評価基準にするかを、スタートの時点から考える必要があります。専門アドバイザーは指導者や先生ではなく、1年間一緒に歩いてみる随行者で、スタッフの皆さんが主人公です。

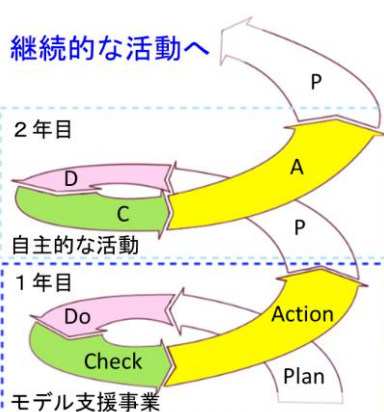
### ● モデル支援事業の成果 ●

このようにして作っていく目標設定と計画は、具体的 (specific) で、到達可能 (achievable)、そして測定可能 (measurable) なものですから、スタッフの協働を促し、取組みの推進力となります。また評価 (Check) しようとしたときに、目標や取組みに対するダメ出しにはつながりません。これまで支援させていただいた医療機関でも月に1回の訪問ですが、専門アドバイザーや当センターの職員の日にも、スタッフの皆さんが「お互いが考えていることがわかるようになる」プロセスが感じられます。次の1年、その翌年以降も改善活動が続いていくこと (図1) を確信できます。

コロナ禍の状況を見ながらですが、モデル支援事業の実施が可能になればお知らせしますので、積極的なご応募をお待ちしています。

また、モデル支援事業に限らず、医師労働時間短縮計画等についても相談に応じていますので、当センターまで、なんなりとお気軽にご連絡ください。

図1. PDCAサイクル



高知県イメージキャラクター「くろしおくん」

社会保険労務士や医業経営コンサルタントからのアドバイスも無料で受けられます！

## 高知県医療勤務環境改善支援センター

(事業受託者：一般社団法人 高知医療再生機構)

TEL 088-822-9910

平日(祝日、年末年始を除く) 8:30 ~ 17:15まで

ホームページ <https://www.kochi-mrr.or.jp/kinmukankyokaizen>

E-mail [kinmukankyokaizen@kochi-mrr.or.jp](mailto:kinmukankyokaizen@kochi-mrr.or.jp)

勤務環境のことならお任せ

